

御礼

去る3月17-18日、京王プラザホテル札幌およびロイトン札幌において第9回日本MISt研究会兼第5回北海道MISt研究会を開催させていただきました。本会は70題を越える演題応募をいただき、盛会にて終了させていただきました。

17日の症例検討会では3題のいずれも興味深いご発表があり、豊岡中央病院の猪川輪哉先生がBest Encourage Awardを受賞されました。

18日のオープニングシンポジウムでは”MIStの現在と未来“をテーマに各種脊椎疾患ごとに今我々がMIStを応用して可能となっていること、さらに今後取り組むべきことについて、優れたシンポジストのReviewと有意義な討論が行われました。

ランチョンセミナーではVR, AR分野の第一人者でいらっしゃいます杉本真樹先生に先進的で大変興味深いご講演をいただきました。杉本先生からは脊椎外科医の皆さんにも是非この分野に取り組んでいただきたい旨のメッセージがございました。

午後のシンポジウム2“MIStとCAOSの融合”では近年発達が著しいコンピューター支援手術をMIStにどのように生かしてMIStを発展させていくかについて、シンポジストのご発表と討論が行われました。低侵襲化に伴う三次元データの術者への有効な提供の重要性とVR等の先進技術とCAOSの融合が今後進んでいくとのメッセージがありました。

特別講演1では新潟脊椎外科センターの長谷川和宏先生より、“高齢者脊柱変形の病態・治療—矯正固定術における生体力学的基本—”のご演題でご講演をいただきました。脊椎手術の基礎となる基本的な生体力学的事項をご自身の基礎研究の結果からわかりやすくご説明いただきました。さらに脊椎変形矯正手術に必要な3Dアライメント計測や手術手技の要点について合わせて解説いただき、大変有用な多くの情報をいただきました。

特別講演2ではOLIFとCBTの開発者であられるRichard Hynes先生に、“Development and Advance of OLIF25 and OLIF51”のご講演をいただきました。長いMini-ALIFのご経験からこの術式を合併症を軽減して低侵襲的に行える術式としてOLIFを開発した経緯とその臨床成績、本邦では未だ上市されていないOLIF51の術式について、詳細にわかりやすくご講演いただきました。前日のCBTに関するミニレクチャーと合わせて多くのご興味が寄せられました。

併催のコメディカルコースには50名を越えるご参加をいただき、計13テーブルの企業協力と講師の先生のご尽力により成功裡に終了いたしました。

閉会式ではBest Presentation Awardに時岡孝光先生と小池良直先生が、Best Discussor Awardに大塚聖視先生が選出され、表彰状と賞金が授与されました。

3月の札幌開催とのことで悪天候等による交通の乱れも杞憂に終わり、盛会にて終了できましたこと、心より感謝申し上げます。

最後に会の開催にあたり共催、ご寄付いただきました企業、病院の皆様にもこの場をお借り

して深謝申し上げます。

来年は蜂谷裕道会長のもと名古屋での開催となります。皆様奮ってご参加の程、よろしくお
願い申し上げます。

第9回日本 MIS_t 研究会兼第5回北海道 MIS_t 研究会
会長 小谷善久

MISt 第9回日本MISt研究会 Minimally Invasive Spine Stabilization
低侵襲脊椎治療の現在と未来 - 高齢化社会への提言



特別講演1
講師 関西医科大学 整形外科
「高齢者脊柱変形の病態・治療
〜矯正固定術における生体力学的基本〜」
講師 齋藤 貴徳 先生
演者 医師法人 慶仁堂 新潟脊椎外科センター
センター長 長谷川 和宏 先生

特別講演2
講師 国際医療福祉大学 整形外科
「Development and advance
of OLF25 and OLF51」
教授 石井 賢 先生
講師 President, The B.A.C.K. Center, Melbourne, Ft. USA. Richard A. Hynes, MD, FACS





CERTIFICATE
Mr. [Name]
[Institution]





